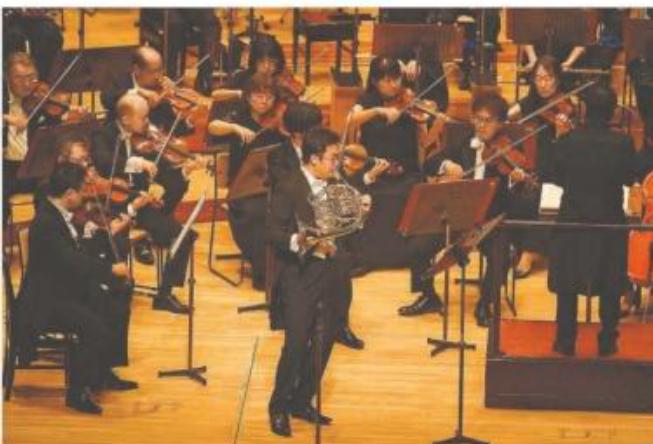


「へのふすえ・せきと」板木県小山市出身、12歳よりホルンを始める。春日部共栄高校を経て、東京藝術大学を卒業。ホルンを飯笛浩二・日高圓の名民に師事。第86回日本音楽コンクールホルン部門入選、第35回日本管打楽器コンクールホルン部門第3位。第73回ARDミュンヘン

国際音楽コンクール木管五重奏部門にクリスティーネ樹で出場し、セミファイナリスト及び新曲特別賞を受賞。これまでに愛知県内オーケストラ、日本フィルハーモニー交響楽団とソリストとして共演。現在、日本フィルハーモニー交響楽団首席ホルン奏者▽



信末碩才さん



日本フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会でソリストを務める信  
末さん（中央）＝2024年6月、東京・サントリーホール（山口敦）

## 作曲家はこんな人

バッハはバロック時代を代表する作曲家の一人で、「音楽の父」と呼ばれていますが、その最大の理由は「現在の音楽理論の基礎を一人で整理し、完成させたこと」です。別な言い方をすれば、バッハは「音楽のルール」を作った発明家と言えるかもしれません。

## ヨハン・ゼバスティアン・バッハ

それまでの過去数世紀にわたる音楽の歴史を一人で書き換えてしまった巨人とでも言えるでしょう。

た。

また、バッハの音楽の特徴は対位法という作曲技法を用いて、複数の独立した旋律が様々に現れるボリフォニーという音楽を確立しました。なお、現代のポップスの多くは一つの主旋律+伴奏（コード）という構成になってお

り、こちらはホモフォニーと呼ばれます。

中世以来、音楽は学問の「自由七科」の一つとして、算術や幾何学、天文学と並ぶ「数学的・科学的な学問」と見なされてきました。バッハはこの伝統の最後の、そして最大の体現者とも言われています。

バッハの音楽は数学的であると同時に、聴き手の感情を揺さぶる「弁論術・修辞学」に基づいています。特定の音

の動き(音型)が「苦しみ」「喜び」「死」といった特定の意味や感情を示すパロック特有の手法が用いられています。

ノア特有の仕様が付いています。バッハは、自分の感情をぶつける(ロマン派的な)作曲家ではなく、あくまで「神への讃美」や「職人としての仕事」として曲を書いていたようです。毎週のように新曲を書かなければならなかつた中でこれほどのクオリティを維持したことは驚きですね。

(原吹奏楽譜直略)

りんごの音符



18



中学校で吹奏楽部に入ったのは、実は消去法でした。ピアノを習って、いたので楽譜が読めたり、運動が嫌いだったんです。ホルンを運んだのは母が中学校時代に吹いていた楽器が自宅にあったから。それまでは触ったこともありませんでした。でもホルンにはまたの瞬間は明確

で大学進学を期待されていましたが、ホルンのことをずっと考えていたら好きになってしまって。父と担任には反対されました。が、ホルンの先生に藝大を勧められ、3年生の6月に受験を決めました。選めの決算だったので入試まで休みっきり勉強。音楽家の道を心配

ボルンはパートの中で役割が明確に分かれています。下を支えるパートは低音から高音への激しい跳躍があるなど、それぞれ難しさがあります。首席は性格やキャラ的なものだと思っていた、もちろんテクニックも必要だけどリーダーの役割ができるかどうか。自分はせつからちなマイペースだから人に合わせるのが苦手なので(笑)、向いていると思っていました。

「青い毎ごろの音楽会」ではおなじみにされるのは悲しいなんでもあることを知つてもううのが目標で、自分も妥協せずに求めていきたいです。

に覚えています。中学1年のときに、ホルン吹きが憧れる難曲「フェスティバル・バリエーション」（クロード・トーマス・スマス作曲）に出会ったことです。たまたま買った吹奏楽のCDに入っていて「これをいか吹きたい！」と思って曲を「耳コピ」して練習しました。いま思つて音感が鍛えられましたね。懸念かなつて初めて演奏てきた時は本当にうれしかったです。

していた父も、今では演奏を楽しみにしてくれています。

ホルンは演奏するのが難しい楽器と思われがちですが、表現や音色の幅が特に大きい面白い楽器です。「難しい」に視点を置かれてしまって、思いを乗せて吹いても「音を外さなかつた」という点でひとつになります。

秘めた可能性伝えたい

ホルン  
信末 碩才さん  
（栃木県出身）

となつて、いい音楽から「心の栄  
を受け取つてもうえたらうれしい  
す。また、青森ではリンゴジュ

断面の複製、転載、生成AI利用を禁じます